

# 中米物流支えるインフラ開通

## ホンジュラス国道1号橋梁架替

オリエンタルコンサルタンツグローバルが概略設計、詳細設計、施工監理のコンサルティングサービスを担当したホンジュラス国「国道1号線橋梁架替え計画（グアシロペ橋）」が開通した。

1943年に建設されたグアシロペ橋の老朽化に伴い日本の無償資金協力により架け替えを実施した。同橋は、中米諸国を結ぶパンアメリカンハイウエー（PAH）上に位置し、ホンジュラス南部のPAH沿道地域の経済発展、ニカラグア、エルサルバドルとの円滑な貨物輸送な

### オリコンサルグローバルが設計・監理



ど中米地域全体の広域物流に貢献する重要インフラとなる。橋梁形式は、主径間に鋼下路式アーチ（ランガー桁橋）、側

径間にプレストレスト・コンクリート（PC）箱桁を採用した。耐候性鋼材を使用して将来の維持管理の効率化にも備えた。施工は安藤ハザマが担当。オリコンサルグローバルの現地法人「OC LATIN AMERICA」もグループ企業と連携して施工監理を担った。

同国バジェ県ナカオメ市で開かれた開通式には、シオマラ・カストロ大統領をはじめ、ピネダ・インフラ運輸相（SIT）などの関係者、中井一浩在ホンジュラス駐日大使、門屋篤典JICAホンジュラス事務所長が出席し、広域物流を支える新たなインフラの開通を祝った。写真。